



令和 2 年 7 月 3 0 日

ご注意ください水の事故

梅雨明けとともに本格的な夏の暑さがやってくると、河川やプールなどに出かける機会が多くなり、水の事故が多く発生します。

特に今年は、**新型コロナウイルス**の影響で、各地の学校で水泳の授業が中止となり安全教育が十分に行われていないことから、水の事故の増加が懸念されます。

1 水難事故について

枚方寝屋川消防組合管内では毎年 10～15 件の水難事故が発生しており、特に、**8 月、9 月**に多く発生しています。

なお、管内での水難事故の多くが淀川で発生しています。（別紙 1）

2 河川やプールで溺れる事故を防ぐために

- ①小さい子どもと一緒に水遊びをする際は、子どもから目を離さず、**保護者や大人が必ず付き添って**遊んでください。
- ②子どもが泳いでいる時は、プールなどに監視員がいる場合でも、油断せず**目を離さないよう**にしてください。
- ③**飲酒後**や**体調が悪い時**には、遊泳をしないでください。
- ④気象状況に注意を払い、**荒天時**や**天候不良が予測される場合**は中止してください。

3 溺れている人を発見した場合

すぐに **119 番通報** してください。とっさに飛び込んでしまうのは大変危険ですので絶対にやめてください。

万が一救助する場合でも、**ロープ**や**長い棒**など、溺れている人がつかまることができるもの、あるいは**空気を閉じ込めたペットボトル**や**ビニール袋**などを**即席の浮輪**にして投げ渡すなどしてください。（別紙 2）

4 合言葉は「ういてまで」

衣服を着た状態で川や池に落ちてしまった場合、あわてて無駄な動きをしてしまえば、かえって体力を消耗してしまいます。

上向きに寝た姿勢で呼吸を確保しながら浮く「**ラッコ浮き（背浮き）**」で「**あわてずに、浮いて、待つ**」ことが救助される確率を高めるポイントとなります。



【問い合わせ先】

枚方寝屋川消防組合
警防課
総務管理課（広報）

TEL 072-852-9917
TEL 072-852-9903

増水時の淀川



※淀川での遊泳は禁止されています。

万が一救助する場合に役立つもの

1 溺れている人がつかまることができるもの



ロープ



長い棒（ホウキ）

2 即席の浮き輪として活用できるもの



クーラーボックス



ペットボトル